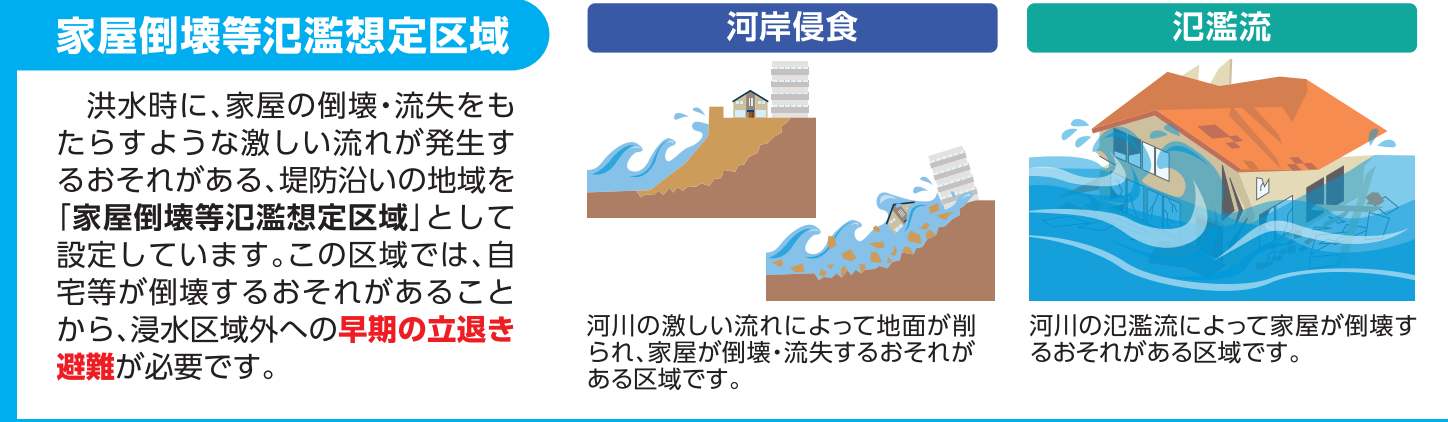
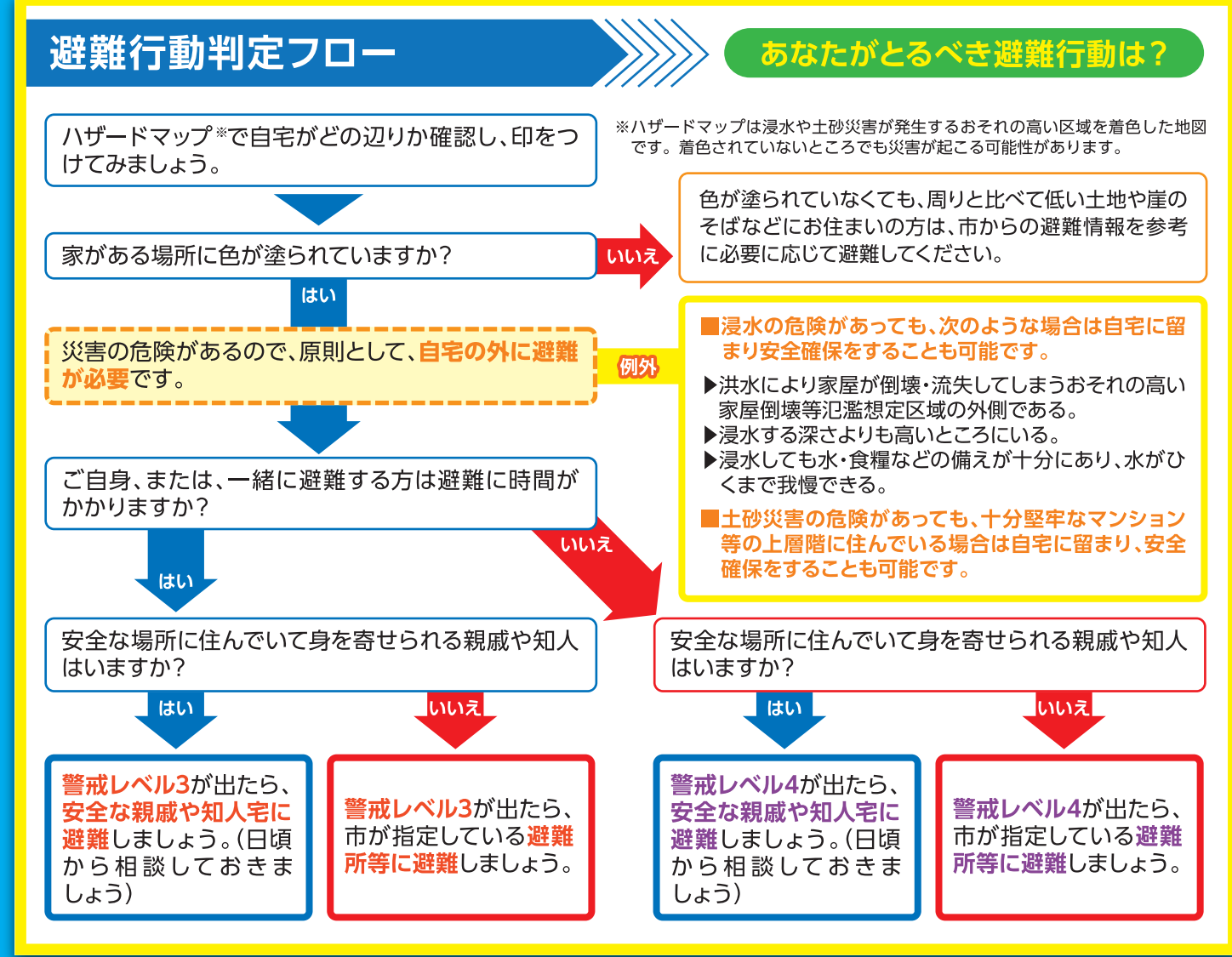


# 京丹後市 洪水・土砂災害ハザードマップ

この洪水・土砂災害ハザードマップでは、下にある避難行動判定フローの流れに沿って、自宅周辺の危険性を把握し、避難が必要か確認してください。  
次に、右のページにあるマイ・タイムラインを確認して、警戒レベルに応じてどのような行動が必要か検討し、記入してください。  
あわせて、下のページにあるような持ち出し品や備蓄品、情報の収集方法などを確認し、いざというときに落ちついて行動できるように備えてください。



発行 京丹後市総務部総務課 〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889番地 TEL:0772-69-0140

## マイ・タイムライン

### 自宅の災害リスクは？

洪水により浸水する深さ

浸水深 (0.5m~3.0m未満の浸水深の場合、1階は使えませんが)

土砂災害 (特別) 警戒区域

区域内 ・ 区域外

### どこに避難する？

市の避難施設

市の避難施設以外の場合

### 誰に声をかける？誰と逃げる？

<声をかける人> ※近所の人や近隣の家族など

<支援者連絡先> ※手助けが必要な人は支援者を決めましょう

### 避難のポイント

◆避難は明るいうちに  
→夜間の避難は危険です！

◆雨が強くなる前に避難  
→テレビや気象庁HPで雨や風が強くなる時間帯を確認

◆自宅が安全な場合は自宅に留まる  
→ハザードマップで危険な場所(災害リスク)を確認

※離れたところにお住まいの家族の行動も確認しておきましょう。

警戒レベルと状況	警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル2 気象状況悪化	警戒レベル3 災害のおそれあり	警戒レベル4 災害のおそれ高い	警戒レベル5 災害発生又は切迫
避難情報(市発令)			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保 <sup>※3</sup>
防災気象情報	早期注意情報 <sup>※1</sup>	大雨・洪水・高潮注意報	洪水警報・大雨警報(土砂災害)	土砂災害警戒情報 など	大雨特別警報(浸水害) 大雨特別警報(土砂災害)
みなさんが取るべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	危険な場所から高齢者等は避難 <sup>※2</sup>	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保!
記入してください	「推奨する行動」を参考に、警戒レベルごとの「あなたや家族の行動」を書き出しましょう				
推奨する行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害への心構えを高める</li> <li>テレビ・ラジオの天気予報に注意する</li> <li>マイ・タイムラインを確認</li> <li>家族の予定を再確認</li> <li>備蓄品のチェック</li> <li>避難時の持ち物の準備</li> <li>ハザードマップなどで避難行動を確認</li> <li>安否確認方法の確認</li> <li>河川の情報を注意</li> <li>危険地域に住む家族へ連絡</li> <li>携帯電話を充電</li> <li>避難に時間を要する方(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難開始</li> <li>土砂災害警戒区域内や洪水時に早期避難が必要な区域内にお住まいの方は避難開始</li> <li>その他の人も普段の行動を見合わせたり、自主的に避難を開始</li> <li>危険な場所にいる人は、速やかに全員避難</li> <li>避難途中に危険を感じたときは、少しでも安全な場所へ(自宅や近くの頑丈な建物の上階等)</li> <li>自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保(少しでも上階に移動する、崖から離れた部屋に移動するなど)</li> </ul>				

※1 気象庁が5日までに警報級の現象が予想される時に発表します。 ※2 高齢者以外の人、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難してください。 ※3 市が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5(緊急安全確保)は必ず発令されるものではありません。  
●各種情報は警戒レベルの順で発表されるとは限りません。情報が変更されることもあります。  
●多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難情報よりも先に発表されます。このため、危険な場所から避難が必要とされる各警戒レベルに相当する防災気象情報が発表された際には、自主避難の参考にしてください。

## 災害に備えて日頃から準備しておきましょう

大きな災害が発生した場合、ライフラインが一時的に途絶えるおそれがあります。避難が必要ない方も、生活に必要な物資は用意するようにしてください。

### 非常用持ち出し袋

水  
食品(缶詰(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコレートなど、**最低3日分の備蓄!**)  
防災用ヘルメット・防災ずきん  
衣類・下着  
レインウェア  
紐なしの靴  
懐中電灯(※手動充電式が便利)  
携帯ラジオ(※手動充電式が便利)  
予備電池・携帯充電器  
マッチ、ろうそく  
救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)  
使い捨てカイロ  
プラケット  
その他、生活用品(ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタック、携帯用トイレなど)

■ 軍手  
■ 洗面用具  
■ 歯ブラシ・歯磨き粉  
■ タオル  
■ ペン・ノート

感染症対策に必要です!!

■ マスク  
■ 手指消毒用アルコール  
■ 石鹸・ハンドソープ  
■ ウェットティッシュ  
■ 体温計

一緒に持ち出そう!!

■ 貴重品(鍵、印鑑、現金、パスポート、運転免許証、健康保険証、病院の診察券、マイナンバーカードなど)

### 子供がいる家庭の備え

■ ミルク(キュータイプなど)  
■ 使い捨て哺乳瓶  
■ 離乳食  
■ 携帯用トイレ

■ 子供用紙オムツ  
■ お尻ふき  
■ 携帯用お尻洗浄機  
■ ネックライト

■ 抱っこひも  
■ 子供の靴

### 女性の備え

■ 生理用品  
■ おりものシート

■ サニタリーショーツ  
■ 中身の見えるごみ袋

■ 防犯ブザー/ホイッスル

### 高齢者がいる家庭の備え

■ 大人用紙パンツ  
■ 杖  
■ 補聴器

■ 入れ歯  
■ 入れ歯洗浄剤  
■ 男性用吸水パッド

■ デリケートゾーンの洗浄剤  
■ 持病の薬  
■ お薬手帳のコピー

### 備蓄をするなら「ローリングストック」がオススメ!

「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えた古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

備蓄の目安 … 食料や水(最低3日分!できれば1週間分) × 家族分

## 大雨・洪水に注意しましょう

### 雨の強さ、降り方と災害発生危険性

雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量と予想用語	10~20mm未満	20~30mm未満	30~50mm未満	50~80mm未満	80mm以上
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴゴと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。急降を感じます。
人への影響と屋外の様子	●地面からの跳ね返りで見えづらくなる。	●傘をさしてもぬれる。●車の場合、ワイパーを速くしても見づらい。	●道路が川のようになる。	●山崩れ、げけ崩れが起きやすくなる。	●水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。	●山崩れ、げけ崩れが起きやすくなる。	●土砂災害が起きやすくなる。	●雨による大規模な災害の発生のおそれがある。●土砂災害警戒レベルを注意する。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違い、地形や地質等の条件によって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

### 河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、各避難情報を発令します。各避難情報は、河川ごとに定められた水位の基準や降雨の状況などから判断し、発令します。

水位の名称等	避難情報の種類	竹野川	竹野川	福田川	佐津谷川	川上谷川	宇川
水位の名称等	避難情報の種類	矢田橋	大宮	網野橋	出合橋	橋爪橋	宇川
氾濫危険水位 氾濫が起きる可能性がある水位	避難指示 の目安	3.6m	2.8m	1.8m	2.1m	1.5m	2.6m
避難判断水位 避難判断の参考になる水位	高齢者等避難 の目安	2.6m	2.0m	1.5m	1.6m	1.3m	2.1m
氾濫注意水位 水が田舎に浸す可能性がある水位	発表無し	2.6m	2.0m	1.5m	1.6m	1.3m	2.1m
水防団待機水位 水防団が準備する水位		2.0m	1.5m	1.0m	1.2m	1.0m	1.5m
ふだんの水位							

## 土砂災害に注意しましょう

### 土砂災害(特別)警戒区域

**土砂災害警戒区域(イエローゾーン)とは…**  
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

**土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)とは…**  
土砂災害が発生した場合に、建物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許制、建築物の構造規制等が行われます。

### 土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害のおそれがあるか、確認しておきましょう。

土砂災害の種類	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
げけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
土石流	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域
地すべり	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域

前兆現象

- げけ崩れ(急傾斜地の崩壊)の前兆現象: けけ崩れが起きやすくなる。土砂災害警戒区域
- 土石流の前兆現象: 長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。土砂災害警戒区域
- 地すべりの前兆現象: 大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が、広い範囲にわりとゆっくりと動きだす現象です。土砂災害警戒区域

### 土砂災害から身を守るポイント

- 住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認してください。
- 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意してください。
- 危険を感じたら早めに避難してください。

緊急避難場所等への移動がどうしても困難な場合は…

家の2階以上(がけと反対側)へ

土砂災害警戒情報とは…

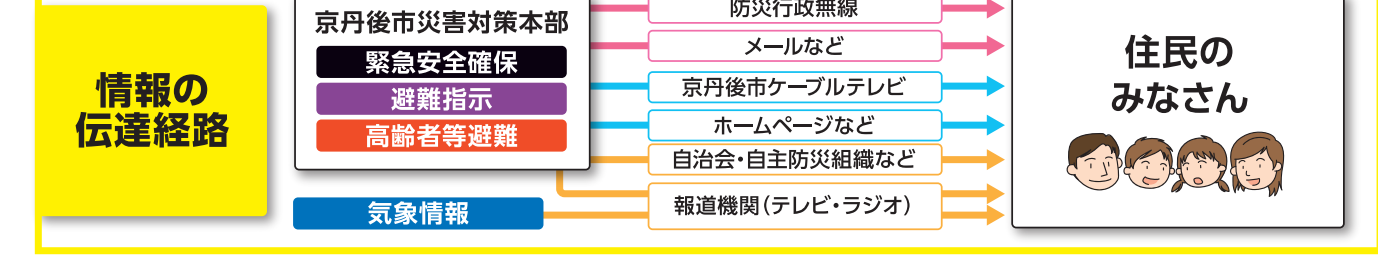
土砂災害警戒情報とは、大雨により土砂災害の危険度が高まったとき、京都府と京都府気象台が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発せられたら、土砂災害に厳重に警戒し、安全な場所に避難してください。土砂災害警戒情報が発表されていなくても、土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら早めに避難を心がけましょう。

▼土砂災害の危険度情報は、京都府がインターネットで公開している「京都府土砂災害警戒情報」で確認することができます。

京都府土砂災害警戒情報 検索 <https://d-keikai.pref.kyoto.jp/>

## 情報を収集しましょう

市が避難情報を発令した場合、下図のような経路で住民みなさんに伝達されます。中には、市から直接、住民の皆さんに情報を伝達する方法と、テレビやインターネットなどで詳細な情報を収集する方法があります。積極的に情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。



### メールなどによる情報の入手先

市が避難情報を発令した場合には、携帯電話事業者から対応する緊急連絡メールの他にも、市が発信する公式LINE、府が発信するメール配信システムにより、事前に登録された方に情報を配信しています。是非登録してください。

- 京丹後市公式LINE  
京丹後市公式LINEでは、防災や防犯、子育て情報、市に関するテレビ放映予定、選挙、催しの開催情報などの情報を配信しています。是非「友達」登録をお願いします。  
京丹後市公式LINEのQRコード: @kyotangocity
- 京都府防災・防犯情報メール配信システム  
気象庁や防災・防犯に関する情報をメールでお知らせします。  
登録方法: @kenn.pref.kyoto.jpへメールを送信してください。  
※登録料、配信料、メールが配信されない場合は、事前に確認してください。
- 防災行政無線(戸別受信機)による情報の入手  
気象警報や地震速報、火災発生、その他施設のお知らせなどの放送を受信する機器です。  
市内の各世帯に1台無償で貸与します。企業や団体などの事業所や各世帯台独自に導入の場合は、購入していただく必要があります。

### インターネットによる情報の入手先

京丹後市ホームページ 市の最新情報を確認できます。  
<https://www.city.kyotango.lg.jp/>

きょうと危機管理WEB  
避難所の開設・避難状況などを確認できます。  
[https://www.bousai.pref.kyoto.lg.jp/dis\\_portal/](https://www.bousai.pref.kyoto.lg.jp/dis_portal/)

気象庁(キキク) 洪水・土砂災害の危険度分布を確認できます。  
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

川の防災情報  
全国の河川の水位情報などを確認できます。  
<https://www.river.go.jp/>

### 緊急時の連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
京丹後市役所	69-0001(代表)	救急電話相談	#7119
京丹後警察署	62-0110(代表)	関西電力送配電	0800-777-3081
京丹後市消防本部	62-0119(代表)	NTT	113
京丹後市上下水道部	69-0580	あなたのLPGガス	

## 安全に避難しましょう

### 避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

- 状況により、すばやく避難しましょう!  
市から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。
- 外出中の家族には連絡メモを残そう!  
「どこでへ避難する」といったようなメモを残しておくようにしましょう。
- 住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持つ!  
特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身に付けて避難しましょう。
- 集団で助け合おう!  
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
- 車の避難は控えて!  
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車で避難する場合は、周囲が浸水する前に避難しましょう。
- 安全なルートで!  
川べり、山崩れなどは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
- 持ち出し品を事前に準備しましょう!  
非常持出品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 避難所では、係りの指示に従いましょう!  
避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

### 水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。

危険な避難

避難場所への早期の避難(水平避難)

高所への避難(垂直避難)

### 要配慮者について

要配慮者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

### 高齢者・病人

- 緊急時は、おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者に対応する。

### 目的の自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触らず、ひざのあたりに軽く持つてもらい、半歩先をゆっくり歩く。

### 肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上り時は前向き、下りは後ろ向きに移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを活用し、おぶって避難する。

### 耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。